

令和元年第5回栗原市議会定例会 一般質問【個人質問】 通告表

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
1	15番 佐藤 悟	1 自然災害対策について	<p>1 台風19号被害対策について。以下の点について伺う。</p> <p>(1) 「り災証明書」「被災証明書」の直近での発行件数。</p> <p>(2) ① 住家・非住家の床上浸水、床下浸水の棟数。 ② 被害者に対する市独自のお見舞金の支給をすべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) ① 流入・堆積し、収集した稲わらの総量はいくらか。 ② 処理施設への搬入期間は、令和元年11月18日から12月27日までであるが、作業の進捗状況によっては、搬入期間の延長が必要ではないかと考えるがどうか。</p> <p>(4) 農地・農業用施設(用排水路、揚排水機場、パイプハウス等)の災害復旧事業(工事期間)の見通しはどうか。</p> <p>(5) 国道、県道、市道、農道、林道等の災害復旧事業(工事期間)の見通しはどうか。</p> <p>2 河川整備について。川底の掘削、雑木・中州の撤去、堤防のかさ上げ、特に三迫川の金成津久毛下大原木・上大原木地内は、無堤防状態であり、早期の堤防の構築が急がれる。頻発する豪雨・大洪水から郷土と市民の財産・生命を守るため、早期の整備が求められる。取り組みの現状と今後の対策を伺う。</p>
		2 除雪・融雪対策について	<p>1 全ての分野にとって、交通路の安全・安心の確保は、極めて重要である。以下の点について伺う。</p> <p>(1) 今冬季の除雪・融雪対策の契約事業者数と契約金額はどうか。</p> <p>(2) 除雪・融雪作業の基準(積雪量、融雪剤散布、砂袋設置等)はどうか。</p> <p>(3) 保育所、幼稚園、小学校、中学校等の周辺の通所、通園、通学路(歩道含む)の除雪・融雪対策はどうか。</p> <p>(4) 豪雪地域に住む高齢者世帯に対する除雪支援事業への取り組みはどうか。</p> <p>(5) ① 冬期間通行止めとなる国・県・市道・農道の線名、区間、キロ数、期間、迂回路の有無はどうか。 ② 国道398号線(温湯～湯沢間)の通年通行への取り組みは、どう行われているか。</p>
		3 水道事業「みやぎ型管理運営方式」について	<p>1 村井知事は、11月25日宮城県議会に水道事業「みやぎ型管理運営方式」に関する条例(案)を提案した。県が運営する水道3事業について、コンセッション方式を導入するとするものである。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
		4 地域公共交通政策について	<p>(1) 市長は、水道事業「みやぎ型管理運営方式」をどう捉えているか。</p> <p>(2) 市は、「大崎広域水道事業」から一部給水を受けているが、市水道事業への影響はどうか。</p> <p>(3) 平成 31 年 2 月「宮城県水道事業広域連携検討会」が発足している。広域化・連携のシミュレーション等は、どう検討されているのか。</p> <p>(4) 宮城県は、はじめに県内の広域連携を推進すべきと考えるが、市の考えはどうか。</p> <p>1 乗合デマンド交通について。</p> <p>(1) 平成 31 年 4 月から直近までの運行の実績について、下記の点を伺う。</p> <p>① 登録者人数。</p> <p>② 利用者人数。</p> <p>③ 運賃収入。</p> <p>(2) 利用者・市民・運行事業者等から、様々な意見・要望が出されている。以下の点について、検討の有無、検討の内容を伺う。</p> <p>① 地区内拠点の見直し。</p> <p>② 運行圏域の広域化（ブロック再編成）。</p> <p>③ 運行経路・時刻・回数等の見直し。</p> <p>④ 利用者登録料、年間 1 人 1,000 円を世帯単位に見直し。</p> <p>⑤ 利用料金、現行片道大人 300 円、小中高生 100 円、障がい者半額の見直し。</p> <p>⑥ 見直す場合の実施日は、令和 2 年 4 月 1 日からとすべきであると考えがどうか。</p> <p>2 「地域公共交通活性化協議会」への「専門部会」の設置について。地域公共交通には、様々な課題が山積している。利便性の高い運行形態となるよう「(仮称)専門部会」を設置し、地域の実態に即した事業計画とすべきであると考えがどうか。</p>
2	19 番 相 馬 勝 義	1 災害対応について	<p>1 台風 19 号により、栗原市が 10 月 12 日の午前中に避難者の受け入れを始めたことは、人命重視の素晴らしい判断であったと評価するものである。私も地区の避難所に行ったが、高齢者の方と迫川沿いの地区の方が多いと感じたところである。このことから、今回の災害対応について 3 点伺う。</p> <p>(1) 市では、介助が必要な障害者や高齢者に配慮した避難所を準備しているか伺う。</p> <p>(2) 今後ますます高齢化が進むことから、福祉避難所が必要になってくると考えるが、どのように考えているか伺う。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			(3) 市長の政治理念として、今一番苦しんでいる人々に手を差し伸べることが大切と考える。特に今回の災害では、堆積した稲わらの処理が課題である。現在の処理状況はどのようになっているか伺う。
		2 市の奨学金制度について	1 東北職業能力開発大学校は、40年にわたって優秀なものづくり人材を育成し、ほぼ100%という高い就職率で、栗原市をはじめ東北エリア等に人材を供給し続け、地域経済の発展に寄与している。これからは、栗原で400名が学んでいる学生に対して力を貸すことが必要と考える。そこで2点質問する。 (1) 市の奨学金制度を、東北職業能力開発大学校で他の地域から入学し、市内の寮や賃貸住宅に居住する学生へ適用する制度に改正、又は制度新設を要望するが如何か。 (2) 東北職業能力開発大学校の学生の市内企業への就職、又は市内居住を条件として、就職後の奨学金返済の免除・軽減・猶予等の措置を併せて設ける制度に改正、又は制度新設を要望するが如何か。
		3 築館高校野球部グラウンドに伴う整備の状況について	1 「中核機能地域の整備の基本構想」においては、栗原中央病院付近を生活創造拠点のエリアとして定めているところであるが、まずやらなければならないのは中核機能地域とは別枠で、築館高校野球部グラウンドの整備であると考え、質問する。 (1) 小中学校の野球を愛する子供たちが、「将来、伝統ある築館高校に入学し、野球部に入って活躍したい」と頑張りながら夢を持つためにも、早急に話し合い、グラウンドの整備対策に着工すべきと考える。県との協議はどのようになっているのか伺う。 (2) 野球部グラウンドの移転にあたり、新グラウンドへの取り付け道路と平成27年9月の豪雨でも冠水した渋川一帯の排水対策が重要であると考え、どのように整備するか伺う。
3	4番 佐藤千昭	1 栗原市&白石市の宮城県南北ダービーについて	1 栗原市と白石市が、市政の様々なテーマで競い合っただけで魅力向上を図ろうと「県南北ダービー」を始めたとの報道を見た。第1弾はふるさと納税で、2019年度は「プレ対決」と位置づけ、2020年度から本格的に取り組むと報道されている。 (1) この連携企画は、両市長の市議時代からの親交や自然環境、奥州街道の宿場町として栄えた歴史、火縄銃鉄砲隊の活動などを挙げているようだが、もう少し詳しい企画内容を伺う。 (2) 「県南北ダービー」によって、栗原市の活性化に向けて、どのような期待をしているのか。

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>(3) 本年は「プレ対決」として、第1弾として、ふるさと納税とした理由を伺う。</p> <p>(4) 「プレ対決」に向けて、市のふるさと納税制度で特に改善したことや充実したことはあるか。</p> <p>(5) 対決結果は5月ごろ発表し、勝敗判明後の第2弾以降のテーマは今後決めるとしているが、今後のテーマについて市長の考えがあれば伺う。</p> <p>(6) このほか、今後ほかの市と競い合う施策があれば伺う。</p>
		2 森林経営管理制度（森林経営管理法）について	<p>1 適切な経営や管理が行われていない森林は、本来森林の機能である土砂災害の防止や水源涵養、木材生産などに大きな影響を及ぼすことが懸念される。このことから、「森林経営管理法」により森林所有者の責務を明確化して、適切な森林の経営や管理を行い、森林の機能を発揮させるための法制度と認識している。</p> <p>(1) 森林経営管理法の概要について伺う。</p> <p>(2) 市内の森林で市外所有者（不在地主）の人数と面積、所有者不明の面積は。</p> <p>(3) 森林経営（管理）計画作成のメリットは何か。</p> <p>(4) 森林施業計画と森林経営（管理）計画の相違点は何か。</p> <p>(5) この計画作成は、膨大な事業量となる。森林環境譲与税の充当で、専門的な人材の育成も必要と思うがどうか。</p>
		3 イノシシやニホンシカ対策について	<p>1 有害鳥獣対策については、市の対応もあり一定の成果は出ていると思う。しかし、イノシシやニホンシカは減少することなく、目撃情報も多く、農作物の被害も多く出ており、生息域も拡大していると考えられる。中山間地の高齢者の多い小規模農家の問題となっている。</p> <p>(1) イノシシやニホンシカの市内での目撃情報と捕獲の状況はどうなっているのか。</p> <p>(2) 狩猟免許（わな猟免許等）の取得者の人数と推移を伺う。</p> <p>(3) 電柵防除のための補助金が足りなかったと聞かすが、その後の対応はどうなっているか。</p> <p>(4) 捕獲したイノシシやニホンシカの解体処理や処分困っている。処分場の対応と埋設の場合の小型重機の貸付けも検討をすべきと思うがどうか。</p> <p>(5) 鳥獣被害対策実施隊の待遇改善や捕獲に対する補助金の増額を検討すべきと思うがどうか。</p> <p>(6) 鳥獣被害（特にイノシシやニホンシカ）は広範囲になっている。対策は周辺市町村や県単位での対応など広域的に行うべきと思うがどうか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
4	25 番 阿 部 貞 光	1 災害対策について	<p>1 台風 19 号により、栗原市においても河川堤防の決壊、道路等の法面の崩落、家屋等の浸水、稲わらやゴミの堆積等、甚大な被害を受けている。被災された方々の一日も早い生活再建と被害箇所の復旧が待たれるところであり、次の点について伺う。</p> <p>(1) 堆積した稲わらの処理が大きな課題となっているが、農家によって処理が進められている状況にある。一方、水路や道路に堆積した稲わらは市が処理することになるが、状況把握・処理スケジュールはどうか。来年の営農に支障がないよう進められるか伺う。</p> <p>(2) 被災箇所の復旧スケジュールと、今後、同規模の災害に備えた復旧となるのか。また、冠水により稼働できなかった排水機場は復旧するか伺う。</p> <p>(3) 照越川は大雨のたび堤防が決壊し、下流ではそのたびに被害を受ける状況にある。河川改修のための用地買収等がすでに行われている現状にあり、早期改修への全面着手、決壊箇所の復旧工法はどうか伺う。</p>
		2 道の駅構想	<p>1 道の駅整備に係る市民懇談会が 11 月 25 日から 11 月 29 日までの 5 日間、5 会場で開催されたところである。構想は平成 30 年度に「道の駅整備基本調査」が行われ、本年度は「道の駅基本構想」策定のため、業務を業者委託されている事業である。次の点について伺う。</p> <p>(1) 現在の進め方では、令和 2 年度には基本設計を行うことができるが、道の駅開業までのスケジュールを伺う。</p> <p>(2) 懇談会で出された意見はどういったものか伺う。また、この時期に市民の意見を聞く理由についても伺う。</p> <p>(3) プロポーザルによる業者選定が行われたと理解するが、市の提案内容と業者の企画提案内容を項目毎に伺う。</p> <p>(4) 今回の業者委託には、出店候補者向けの説明会や事業運営主体の把握等が含まれているが、現状においてどう進められているか伺う。</p>
		3 鳥獣被害は近々の課題	<p>1 栗原文化会館で 7 月 18 日、県のわな猟免許試験が開かれ、受験者数は 51 人、うち 30 人が栗原在住者となっている。年々急激に増え続けるイノシシ、民家や畜舎などへ出没するクマ等により、農作物等への被害は拡大しており、被害防止対策は近々の課題である。そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) わな猟免許試験は 10 月までにあと 2 回実施されているが、栗原市の受験者数と推移はどうか。(平成 29・30・31 年度)</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<ul style="list-style-type: none"> (2) 10月現在でツキノワグマ 29 頭、イノシシ 55 頭の捕獲実績だが、現時点での実績と個体の大きさや年齢はどうか伺う。 (3) 今年度のツキノワグマ・イノシシ等の出没件数(全体・地区毎)と対応を伺う。 (4) 現時点での市内狩猟免許取得者数(種類毎)を伺う。 (5) 栗原市鳥獣被害防止計画では、実施隊員数を 90 人見込んでいるとされているが、現在の隊員数(全体・地区毎)と年齢層は。また、実施隊への加入・促進の取り組みはどうか。 (6) 市が所有するワナの貸し出し条件と貸し出し状況は。また、ワナ数は十分か伺う。 (7) 防止計画では、平成 31 年度、ワイヤーメッシュ柵整備として 3 地区 6,000mとされているが、地区設置経費、維持管理等、どうなるか伺う。 (8) イノシシやツキノワグマの捕獲頭数が今後も増加することになる。処理・処分方法、活用等を早急に目指すべきと考えるがどうか。
5	13 番 沼 倉 猛	<p>1 災害時における被災者支援策の周知について</p> <p>2 被保護者健康管理支援事業について</p>	<p>1 台風 19 号によって栗原市も多大の被害を受けた。被災者に対しては国県及び栗原市独自の支援策が出されているが、復旧状況について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 台風 19 号による被害箇所は、災害区分ごとにそれぞれ何件か。 (2) 現在の被災証明、罹災証明の発行状況や支援申請は、各支援策ごとに何件あるか。 (3) 市内の各家庭に「被災者支援のお知らせ」が配布されているが、市民への周知は十分と思うか。 (4) 流入稲わらの処理は、どのような方法で処理されているか。また、現在どの程度処理が進んでいるか。 (5) 稲わらの処理施設が混み合って、稲わらの搬入に時間がかかりすぎるという声がある。12 月 27 日の期限の延長が必要ではないか。 (6) 市職員を登米市へ支援に派遣したと聞くが、支援内容、日数、人数について伺う。 <p>1 被保護者健康管理支援事業は生活保護受給者を対象として行われる事業であるが、以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 生活保護受給者を対象とした事業であるが、何のためにどのような事業を行うのか。 (2) 栗原市の生活保護受給者の世帯数と年代別の区分はどうなっているか。

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>(3) 生活保護受給者とそれ以外の市民のそれぞれ一人当たりの医療費はどうか。</p> <p>(4) 具体的には誰がどのような形で支援するのか。</p> <p>(5) 生活保護受給者の医療の自己抑制につながる恐れがあると思うが、どう対応するのか。</p>
		3 会計年度任用職員制度について	<p>1 2020 年度から会計年度任用職員制度が始まるが、以下の点について伺う。</p> <p>(1) これまでの臨時職員や一般職非常勤職員は会計年度任用職員になるが、なぜこうした改正が行われるのか。</p> <p>(2) 改正によってこれまでと身分や待遇はどう変わるか。</p> <p>(3) ボーナスや各種手当は支給されるのか。</p> <p>(4) 任期は単年度内のみなのか。会計年度任用職員として引き続き働きたい人は、毎年度採用試験を受ける必要がでてくるのか。</p> <p>(5) 市の業務を請け負って仕事をしている学校給食センターや放課後児童クラブなどで働いている人たちの待遇は変わるか。</p> <p>(6) 栗原市の行政区長の身分は非常勤特別職である。地方自治法の改正によって現在とどう変わるのか。</p>
		4 スクールバス乗降場へ駐輪場の設置をせよ	<p>1 栗原南中学校が開校して 6 カ月が過ぎているが、生徒の通学手段について伺う。</p> <p>(1) 高清水地区から栗原南中学校へ通う中学生の通学手段はスクールバス、保護者の送迎、自転車通学などがあると思うが、それぞれの人数はどうなっているか。</p> <p>(2) 通学路の歩道整備など安全対策は行われたか。</p> <p>(3) 高清水地区の栗原南中学校のスクールバスの乗降場は何か所か。また、乗降場までの生徒の交通手段はどうなっているか。</p> <p>(4) スクールバスの各乗降場に風雨を防げる駐輪場を設置する必要がある。設置の考えはあるか。</p>
6	1 番 佐 藤 庄 喜	1 荒川、照越川の決壊による災害処理と今後の減災構築について	<p>1 荒川、照越川の決壊により、照越前、加倉前、曾内前の圃場は全て湖沼化となった。また、内沼に注ぐ太田川、八沢川の越水等となり、圃場も水害に遭った。以下について伺う。</p> <p>(1) 被災稲わら処理について。小規模は片付けも見受けられるが、大規模堆積の伊豆沼周辺の方々も思案中と思う。</p> <p>① 大規模堆積は圃場と区別出来ないほど側溝、土手にもあるので、全体的に片付けるため市の協力が不可欠である。業者に依頼し、市での処理は出来ないものか伺う。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>② 地域環境保全会員個人で処理するにしても膨大な量となり、金額も多額となる。全額支払可能なのか、又、支払いの上限はあるのか伺う。</p> <p>(2) 砂利、砂等の撤去について。荒川、照越川の決壊により、農地、水路に玉砂利等も流失し、圃場に堆積されている現場もある。</p> <p>① 市が管理する堤防（道路）の決壊による砂利、砂の撤去はどうなるのか伺う。</p> <p>② 荒川、照越川の決壊による土砂流失も甚大であり、県との打合せもされていると思うが、市民安心のため、どのように撤去対応されていくのか伺う。</p> <p>(3) 荒川の右岸の一部かさ上げについて。加倉地区の新幹線高架下近辺から上流 300mほどの堤防は低く、大雨時必ずと言っていいほど越水し、照越圃場そして加倉前の圃場へと注ぐ。問題の堤防である。越水については、市も確認されていると思うが、河川氾濫防止のため県と打合せをしている内容はどうか伺う。</p> <p>(4) 荒川、照越川の川砂の除去、樹木伐採について。11月12日総務省は、氾濫、決壊防止のため、川砂の除去のため自治体への財政支援の方針を決めたとある。樹木伐採も含むとある。毎回、洪水をもたらす川であり、一級河川の体をなしていないのではと思う。とりあえず荒川は光明寺橋から新幹線高架あたりまでの下流域を守って欲しいと切実な願いでもある。県と交渉をしてほしいと考えるがどうか伺う。</p>
		2 県道 250 号線 (県道くりこま高原駅線)の植栽管理について	1 県道 250 号線は、くりこま高原駅により栗原市の玄関口である。両側の歩道にはカラー平板が敷き詰められ、洒落た道路となっている。大型バス、タクシー、その他車両も通り、メインロードである。この道路の側には、どうだん、錦木、つつじ等の花木があり、商品としても良いものが植えられているが、管理をしっかりと欲しいとの市民の声もあった。県との打合せもあると思うが、今後、どうされていくのか伺う。
7	3 番 澤 邊 幸 浩	1 防災行政無線の戸別受信機の設置について	1 今年も度重なる台風による自然災害が発生。栗原市はもとより、各地において被害は甚大なものとなり、今尚、その復旧に取り組む現状である。このような甚大な自然災害が、今後も頻繁に発生することは、容易に想像できるところである。自然災害に対する防災行動のためにも、防災行政無線の戸別受信機の每户への設置が必要不可欠と思われるが、以下のとおり設置に対する市の見解を問う。

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>(1) 現在、栗原市においては、戸外における防災行政無線を配備しているが、今後、配備されている防災行政無線で、防災行動や避難行動に対して、十分に対応できると考えられるか。</p> <p>(2) 防災行政無線の毎戸への戸別受信機設置に向けて、栗原市は、現在まで検討されたことはあるのか。あるのであれば、設置までに至らなかった理由を示してもらいたい。</p>
		2 「学府くりはら」における学校教育について	<p>1 現在、栗原市における学校教育については、子どもたちの確かな学力の育成に向けて、様々な取り組みがなされている。その一環として、学府くりはら塾の名称で学習会が実施されているが、その取り組みについて、次の点を伺う。</p> <p>(1) 学府くりはら塾の名称で、昨年度まで中学校・高等学校合同学習会が花山地区の施設において合宿形式で実施されていたが、今年度は学習会の実施が見送られている。なぜ、この事業が見送られたのか、その理由を示してもらいたい。</p> <p>(2) 市内の中学生・高校生が一同に介して、合同で学習会を実施することは、大変貴重な機会であると思われる。今後、このような中学校・高等学校連携の学習会の開催を実施していくべきと思うが、その見解を伺う。</p>
		3 公共施設等のトイレの洋式化について	<p>1 市内の生活様式も洋風化が進んでおり、個人宅にても、洋式トイレ設置が常態化しているものと思われる。特に、子どもは洋式トイレでしか利用ができないことは、容易に考えられる。市内の公共施設等におけるトイレ事情について、次の点を伺う。</p> <p>(1) 現在、市内の公共施設で、和式トイレのみで設置されている施設は何カ所あるのか伺う。</p> <p>(2) 今後、和式トイレのみの施設に対して、トイレの洋式化改修について、どのように考えているのか伺う。</p>
		4 栗原市民が子どもたちに示す規範について	<p>1 栗原市においては、昨今、不祥事や褒められるものではない事例が、新聞がニュースにて報道されている。行動や判断の模範やお手本となるべき大人が、問題はあるが黙っていればわからない、発覚すれば、深々と頭を下げて済ませる。これでは、子どもたちに規範を示すことはできないのではないのか。このことにより、次の点を伺うものである。</p> <p>(1) 栗原市民宣言として「子どもたちに規範示す栗原市民宣言」を提唱するべきと思うが、市長の見解を伺う。</p>
8	10番石川正運	1 台風19号に伴う大雨で流出した稲ワラ処理について	<p>1 市内で大雨によって流出した稲ワラの量と流出した箇所の面積はいくらか。</p> <p>2 堆積の量が多く、処理が困難と思われる箇所はあるのか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>3 現在まで処理すべき箇所、手つかずのままの場所は何カ所か。その理由は何か。</p> <p>4 直近の稲ワラ処理の進捗率はどうか。運び込まれた稲ワラの量はいくらか。</p> <p>5 照越川、荒川の堤防決壊のため大量に流出した地域である下照越・横須賀地区の稲ワラは、量も多いことや、土砂や様々なゴミが混じっていることで手つかずのままであるが、処理にあたって市の支援策を講じるべきではないか。</p> <p>6 用排水路の稲ワラ、土砂の撤去は市が実施することであったが、その取り組み状況を伺う。</p> <p>7 用排水機場のプールに堆積した稲ワラ、土砂の撤去の早急な対応を求めるがどうか。</p> <p>8 太田機場は大雨の度に水没するため、稼働できなくなる。プールを設けた機場として移設すべきと思うがどうか。</p>
		2 道の駅基本構想 市民懇談会について	<p>1 懇談会の目的と出席された人数は。</p> <p>2 懇談会で出された意見・要望等をどこで誰が整理をし、どのような形で反映させていくのか。</p> <p>3 出席者の中で、特に若い世代の方から具体的な希望・要望が多いと感じられたが、この意見等について、どう取り組まれていくのか伺う。</p> <p>4 アンケートに協力要請をされていたが、このアンケートの活用をどうされるのか。</p>
9	16番 三浦善浩	1 「キッズゾーン」の設置を	<p>1 滋賀県大津市で今年の5月8日、散歩中の保育園児らの列に車が突っ込んで16人が死傷する痛ましい事故があった。これまでも、子どもたちを事故から守る提案を何度もしているが、次の点について伺う。</p> <p>(1) 市内の保育施設(幼稚園・保育所)の周辺道路(散歩コースなど)に、警察などと協議して「キッズゾーン」を設置してはどうか。</p>
		2 災害には、常日頃の備えを	<p>1 今年、台風19号という大規模な災害に見舞われた。近年の異常気象に伴い、毎年のように大雨災害が全国のどこかで起きている。明日は我が身ということで、決して他人事ではない。常日頃からの備えが、なによりも重要である。そこで、現場の声などを踏まえながら、次の点について伺う。</p> <p>(1) 避難所では雑魚寝の状態であったが、簡易ベッド(ダンボール製)やパーテーションを用意すべきではないか。</p> <p>(2) 報道によると、介護施設が被災したり、孤立したりしている。市内の介護施設では、利用者の災害時の避難体制が整っているのか。(一般の避難者との関わりはどうか。)</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			(3) 「避難所が開設されたけれども、移動手段をもっていない高齢者は、どうすればいいのか。」という声が寄せられた。このような時、市ではどう対応するのか。
		3 再接種費用の助成を	1 小児がん治療で予防接種の免疫が失われ、再接種が必要となった子供を対象に、患者側の自己負担だった接種費用を助成する自治体が増えている。がんの子供を支える家庭の経済的負担を少しでも軽減するという観点から、次の点について伺う。 (1) 小児がんの治療を終えるなどした 20 歳未満の市民を対象に、予防接種を再接種する際の費用の一部を助成してはどうか。
10	5番 佐藤 範 男	1 温かい配慮が必要な避難所の開設と運営	1 未曾有の大型台風と言われた「台風 19 号」は、10 月 12 日から 13 日の未明にかけ、栗原市に接近・通過し、記録的な豪雨を伴い、市内各地に甚大な被害をもたらした。避難状況については、市内 23 か所に「集約避難所」を開設し 1,310 人の避難者を、併せて「一時避難所」17 か所に 115 人の自主避難者を、それぞれ受け入れた。 一時的に開設する避難所とはいえ、市民が少しでも快適に過ごせるよう、最低限度の配慮は必要である。例えば、「テレビ、冷温水器、空気清浄機（送風機）」である。今次開設の 23 か所の「集約避難所」における例示 3 品目の配置状況と、未配置の場合の今後の配置計画について問う。
		2 「市道栗原辻前線」整備事業、明確な説明責任を	1 いよいよ、県営ほ場整備事業「稲屋敷・袋地区」の面工事が、重機の轟音とともにスタートした。千葉市長は、市議会 9 月定例会の私の一般質問に、当該エリアの農道の拡幅面積の確保について、「再度、経過を整理したうえで、県と早急に協議する」と答弁した。その後、栗駒・鶯沢地区の市議会議員全員で市長に面談し、「早急な県協議」に臨む市長の士気を鼓舞したところである。しかし、その後、市長からは何の報告もなく、当該エリアの面工事が開始された。以下、問う。 (1) 市議会 9 月定例会後の「早急な県協議」はいつ行ったのか。行った日程と、どのレベルで協議したのか。また、その結果はどうであったのか。 (2) 市議会 9 月定例会で、「創設換地」を行う場合には「事業の計画段階から関係機関との調整が必要」との答弁があったが、「事業の計画段階」とは、具体的にどの時期を指すのか。「関係機関」とは具体的にどこか。また、今日まで、「創設換地」に係る「関係機関との調整」は、全く持たれたことはなかったのか。 (3) 県協議にあたり、「再度、経過を整理し」と答弁したが、これまで、一般質問の一連の市長答弁を整理し、どのような理解をしたのか。

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>(4) 平成 29 年 4 月 10 日に、鶯沢地区、栗駒文字と稲屋敷の行政区長全員と、当該エリアの地域代表者により、市長に「稲屋敷・袋地区県営ほ場整備事業地区内の幹線道路拡幅整備に関する要望書」が提出されていたが、当時ほどのように回答していたのか。また、千葉市長は、この要望をどのように認識しているのか。</p> <p>(5) 今次ほ場整備事業で、当該農道の拡幅用地を確保できない場合、将来的に当該農道はどのような位置づけになり、具体的にどのように取り扱うのか。</p> <p>(6) 当該農道を含む「市道栗原辻前線」整備事業は、合併時において、栗駒・鶯沢地区から新市に引き継がれた主要事業であり、合併後は、栗原市総合計画や過疎地域自立促進計画において、正式に「公益公共施設を接続する道路整備」として位置づけされた重要事業である。こうした経過を持つ重要事業の取り扱いについて、千葉市長は、どのような基本認識を持っているか。また、将来的に、この事業をどう着地させる意向なのか。</p>
1 1	20 番 濁 沼 一 孝	<p>1 上田山牧野の汚染牧草堆肥化処理施設について</p> <p>2 市民の要望について</p>	<p>1 上田山牧野に建設が計画された汚染牧草堆肥化処理施設。地元の市民からの反対で建設が中止されたと思っていたが、まだ白紙になっていないため、次の点を伺う。</p> <p>(1) 地元では上田山には建設しないと思っているが、白紙にしない理由はなぜか。</p> <p>(2) 他にも何カ所か処理施設候補地になっているが、実現する可能性があるのか。</p> <p>(3) 他市町では一般廃棄物と混焼したり、すき込み等で処理をしているが、本市では考えられないのか。</p> <p>(4) このままでは、30 年、50 年と年月が経過すると思うが、市長の考えを伺う。</p> <p>1 市道上田線の整備について。先にも一般質問をした経緯があるが、請願でも採択された路線である。最近、全国の災害状況を見ても大規模災害が多発している。市長も現地を確認している。早急に整備すべきと思うが、見解を伺う。</p> <p>2 市道、農道の水路の整備について。滝ノ原地内の市道と万代地区の農道のヒューム管が、上流、下流のU字溝より低いため、草や木の葉、除雪時の雪が詰まり、水害の被害になる。早急に整備すべきと思うが見解を伺う。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>3 市有林の伐採について。栗駒松倉水押地内に杉植栽の市有林がある。その市有林の南側に農地がある。農地が林地に隣接しているため、熊、イノシシの被害が発生している。早急に伐採をお願いしたいが、考えを伺う。</p> <p>4 市道沢辺大岡線の大林地内のU字溝の整備について。大林地内の東北新幹線の高架橋下から迫川堤防までの間のU字溝に土砂が堆積し、排水が非常に悪い。早期に整備すべきと思うが、見解を伺う。</p> <p>5 道路照明灯や防犯灯の設置について。今年も12月に入り、午後4時30分頃になると夜道を通行するのも大変な季節になった。この時季になると道路照明灯や防犯灯の設置の要望が来る。以下の点について伺う。</p> <p>(1) 市内で道路照明灯や防犯灯の設置要望は現在のところ何件か。</p> <p>(2) 年間何件の要望があつて、何件の設置が完了しているのか。</p> <p>(3) 道路照明灯や防犯灯一基の設置にかかる費用はいくらか。</p> <p>(4) 道路照明灯や防犯灯の設置だけでなく、生活道路の整備など軽微な事業を優先して実施してほしいと思うが、考えを伺う。</p>
1 2	7番 高橋勝男	1 汚染牧草堆肥化処理施設候補地選定の進捗状況は	<p>1 汚染牧草の堆肥化処理施設建設場所選定に向けた、進捗状況はどうなっているのか。また、今後の予定について伺う。</p> <p>2 製造堆肥を利用した草地更新事業に協力するという畜産農家に対し、面積及び地番についての調査が行われているが、結果はどうか。</p>
		2 自主防災組織の強化を！	<p>1 台風19号に対する栗原市の対応や、各地区の自主防災組織の活動がどうであったのかを検証すると共に、自主防災組織の強化に向け、以下の点について質問をする。</p> <p>(1) 台風19号への対応の中で、栗原市は、避難所の開設、避難勧告を発令したのち、高齢者の一人暮らしや世帯への避難対応はどうしたのか。また、市から区長や民生委員、各地区の自主防災組織への連絡体制及び活動内容について伺う。</p> <p>(2) 各地区に結成されている、自主防災組織の活動内容及び活動実績(訓練の回数など)はどうなっているのか。また、消防署がかかわっている訓練はどの程度あるのか。</p> <p>(3) 各地区の自主防災組織による防災訓練には、消防署から派遣されていたが、各地区防災組織からの要請に対応しきれていたのか。また、消防署からの派遣が出来ない場合があると聞くが事実か。その場合の理由と今後の対応策について伺う。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			(4) 各地区自主防災組織の指導と訓練を消防署分署などで対応するのには、限界があるのではないか。新たに自主防災組織の活動に対応するための担当係の設置を求めるが如何に。
		3 障がい者雇用の 推進を	<p>1 市長は、障がい者の法定雇用率については、市長部局・教育委員会部局・病院事業の3事業による特例で対応しているが、特例はあくまで特例で、一時的な対応と捉えている。障がいを持った方々の雇用拡大に向けた雇用率改善の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 特例は一時的な対応だと思うが、市長は今後をどのように考えているか。</p> <p>(2) 障がい者雇用率の公表は毎年10月となっているが、栗原市の雇用率及び市長部局・教育委員会部局・病院事業、各々の障がい者雇用の実人数と雇用率はどうなっているのか。併せて、栗原市内の民間企業の法定雇用率の状況についても伺う。</p> <p>(3) 来年度採用職員の試験が9月に行われているが、障がいを持った方々の受験者はあったが合格には至っていないようである。市は、法定雇用率の達成に向けて計画的に雇用促進を図っていくとのことであるが、どのような計画になっているのか。今年度も合格者がなかったことから、障がい者枠の採用試験を実施するのか。</p>
		4 どうなる栗原市 立病院事業	<p>1 栗原市病院事業 第3次経営健全化計画 平成30年度重点取り組み事項等に関する点検・評価報告書では、栗原市立3病院の取り組みに対する意見がまとめられているが、具体的には各々どのような病院の姿を考えているのか。</p> <p>2 先の議員全員協議会で、栗原市病院事業経営健全化に係るコンサルタント業務委託の変更について説明があり、その中で、今後のスケジュールが示されているが、市民の声を聞く場の設定はいつ頃を考えているのか。</p>
1 3	18番 佐藤文男	1 大土ヶ森登山道 の管理徹底を	<p>1 大土ヶ森の登山道は沢沿いの溪流コースと中央コースがあり、山頂手前の急勾配は、くま落とし坂、鼻こすり坂などロープをたよりに登る所が続き山頂に至る。登山口から約2.4km 約90分で登れる変化に富んだ山で、初級から中級まで味わえる。栗駒山だけではなく、こうした大土ヶ森の魅力を発信する観点から、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 現在の登山道は旧鶯沢町時代に整備されたものと思うが、合併後の管理方法はどうか。</p> <p>(2) 今年は登山道の草刈りなどはされていないように見受けられるが、毎年草刈りをすべきと思うがどうか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			(3) 途中の観察広場にある東屋は、強風によるものか横になったままである。いつ倒れ、今後どうするつもりか。
		2 県立高校にエアコン設置を求めよ	<p>1 栗原市内には4つ高校があるが、どの高校も特別教室以外普通教室にはエアコンが設置されていないのが現状である。今年の夏は、連日のように30度を超える日があり授業に支障をきたすことから、生徒や保護者からエアコン設置を求める声が聞かれる。一方、栗原市内全部の小・中学校の普通教室には、9月中にエアコン設置が完了し、子供たちの学習しやすい教育環境が整備されたところである。以下の点についてどうか。</p> <p>(1) 本年9月までにエアコン設置を終えた小・中学校のエアコンの稼働状況はどうだったか。</p> <p>(2) 栗原市内4高校の夏季の教育環境をどう捉えているか。</p> <p>(3) 県立高校とはいえ、多くは市内生徒が通う学校である。県にエアコン設置を求めるべきと思うがどうか。</p>
		3 一迫商業高校野球部室内練習場の活用を	<p>1 一迫商業高校野球部では、平成15年に鉄骨ビニールハウスによる雨天練習場が完成し、雨天時の練習や夜間の練習に大いに活用され、甲子園出場にもつながったものと思われる。その後、平成18年には第二雨天練習場も建設された。これまで学校側で管理をする中、一迫地区のグランドゴルフ愛好者等にも利用されてきた経緯がある。しかし、現在野球部員は2名だけになってしまい単独ではチームを組めない状態になっている。</p> <p>こうした現状を踏まえ学校側では、2つの雨天練習場を市において活用をされたい考えがあるようだが、市において室内運動施設として活用すべきと思うがどうか。</p>
		4 商店街の街路灯の総点検を	<p>1 台風19号の被害は大雨による水害だけでなく、風による被害も見うけられた。一迫真坂地区においては、商店街の街路灯が強風により落下したものと思われる被害があった。1個3kg以上あると思われる照明器具が直接人に当たれば大惨事になりかねない。合併前に商工会によるアメニティ事業で同時期に各地の商店街に設置された街路灯は、約4半世紀が経過している。以下の点についてどうか。</p> <p>(1) 市内にアメニティ事業で街路灯が設置された地区数と設置基数はいくらか。</p> <p>(2) 点検やメンテナンスはどのようにしているか。</p> <p>(3) 早急に一斉点検をすべきと思うがどうか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
14	2番 小野久一	1 メガソーラーを規制する条例の制定を	<p>1 栗原市内におけるメガソーラーの設置場所、事業者、それぞれの面積と、また今後計画されているものについても示せ。</p> <p>2 毎年のように台風や大雨によって、河川の堤防が決壊したり、越流したりで大きな被害が出ている。今後温暖化によって益々台風の大型化、大雨の被害が予想されるが、市長は市内の森林が伐採され、メガソーラーが設置されていくことに、どのような見解を持っているか。</p> <p>3 宮城県は林地開発の申請があれば、基本的には拒否しない姿勢のようである。市が乱開発の防波堤になるべきと考えるがいかか。</p> <p>4 富谷市は「自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例」を制定し、再生エネルギー事業の手続きを厳格化して、乱開発に歯止めをかけようとしている。栗原市においても乱開発を規制する条例の設置をすべきと考えるがいかか。</p>
		2 河川整備と水害防止対策を急げ	<p>1 二迫川の対策について伺う。二迫川左岸堤防で鶯沢袋島巡地区の千刈田公園から東へ約100m地点の堤防が約15mにわたり、50～60cm低くなっているが何故か。早急にかさ上げして住民の不安を解消すべきでないか。</p> <p>2 議会報告会で出された要望では、二迫川には新橋と三橋に水位計が設置されているが、鉛川が合流した下流の古峰橋か豊後橋が良いのではないかとのことであった。宮城県と協議できないか。</p> <p>3 栗駒泉沢地区は、迫川や二迫川の堤防がかさ上げされるほど二迫川から金生川を逆流しての水害の恐怖にさらされている。右岸に堤防を造り、排水機場の設備が必要と考えるがいかか。</p> <p>4 川底の浚渫をしないで堤防のかさ上げを繰り返していたならば、川底が上昇し、常に堤防決壊や洪水の恐怖にさらされることになる。抜本的な解決策に向けての市長の行動に期待するが、所見を伺う。</p>
		3 道路管理と除雪・融雪対策について	<p>1 多くの所で雑木・枯れ枝・竹などに覆われている道路を見かけるが、これからの雪の時期に通行の障害になったり、最悪事故の発生も予想される状況も見受けられる。道路管理者として適切な維持管理をすべきでないか。</p> <p>2 除雪委託業者、除雪車台数は昨年と変更ないか。除雪は、①国道、②県道、③市道の順に行なわれるのか。自分で除雪できない高齢者世帯の門口などは、共助・近助でやりなさいということだが、その体制ができていない行政区や自治会はどれほどあるか把握しているか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
15	14番 高橋 将	1 病院再編統合について	<p>1 11月29日に議員全員協議会において、病院再編統合に関する宮城県地域医療構想推進支援事業へ申請したことが示された。これまで、市独自のコンサル委託により再編統合案を検討していく予定であったが、宮城県地域医療構想推進支援事業に取り組むことになった。そのことで影響や違いが生じるのか、今後の再編統合の考え方について伺う。</p> <p>(1) 宮城県地域医療構想推進支援事業は、どのようなプロセスで申請を決定されたか。</p> <p>(2) 市独自のコンサル委託と宮城県地域医療構想推進支援事業の場合での違いはなにか。</p> <p>(3) 事業の結果として提示されるプランや将来シミュレーションをどの程度重要と捉え、どのように活用していくのか。</p> <p>(4) 再編統合について、市民への周知や理解をどう深めていくのか。</p>
		2 SDGsの取り組みを急げ	<p>1 SDGsの導入は、今や多くの自治体や一般企業においても主流になっている。自治体が抱える様々な課題解決への手段としての導入や、課題発掘としての活用が進んでいる。また、SDGsという世界の共通言語を用いて地域を超えての情報共有や交流、さらに地域の新たな魅力の発見や地域イメージの確立、シティプロモーションや地域民のシビックプライドの醸成など、汎用性が高いこともSDGsの特徴である。</p> <p>SDGsの導入は、栗原市の課題解決と同時に社会問題解決への取り組みとなり、結果として人と経済と環境が循環する、持続的なまちづくりにつながるもので、早急に取り組みを開始すべきと考える。</p> <p>(1) 近隣自治体でもSDGsの取り組みがスタートし、栗登一平の中でも栗原以外はSDGsの取り組みが行われている。この状況についてどう捉えているか。</p> <p>(2) 導入に対して、議論は進んでいるか。</p> <p>(3) 早急に取り組みを開始すべきだと思うが、いかがか。</p>
		3 文化財標柱の管理体制について	<p>1 文化財保護審議会等では、指定済の文化財を対象外とすることがあるか。</p> <p>2 文化財標柱がある場所を工事する場合、市内ではどのようなプロセスで行われているか。</p> <p>3 未指定文化財リストに入っている岩ヶ崎の桜馬場は、現在どのような状態か。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
16	24番 佐々木 嘉 郎	1 危機管理体制の 充実を	<p>1 台風19号への対応について、第1報では10月12日午前11時30分に災害対策本部を設置しているが、翌13日午後2時現在、住家・非住家の床上床下浸水はあるものの、合計で262カ所の災害ということだった。被害件数は多いものの大きな被害はなく、災害対策本部で協議を要する案件が想定されないことから、13日午後3時で災害対策本部を廃止した。これでよかったかどうか検証するため、以下聞きたい。</p> <p>(1) 市民からは早期に災害からの復旧を求める声強い。わずか1日で災害対策本部を解散したことによる混乱や弊害は生じなかったか。災害の被害件数は後々増加すると一般に言われている。年々大型化する台風への備え、今回の災害対策本部の反省、これからのあり方など、どう考えるか。</p> <p>(2) 栗原市洪水ハザードマップには、過去の浸水域が斜線で引かれている。浸水深を表示して、大雨時には住民に早期の避難行動をとってもらおう対策をとるべきではないか。</p> <p>(3) 瀬峰駅前には既に浸水経験があるのに着色されていない。宮野地区をはじめ、より分かりやすく、すぐ使える洪水・土砂災害ハザードマップを作ってもらいたいどうか。</p> <p>(4) 予想される最大想定雨量は、見やすく表示すべきと考えるがどうか。</p> <p>(5) 瀬峰小学校は、校舎屋根から複数箇所の雨漏りがある。今年開校した栗原南中学校は、校舎の老朽化が心配される。子供たちの学校生活を安全に守るため、しっかりと校舎の危機管理をして欲しいがどうか。</p>
17	17番 菅 原 勇 喜	1 市長の政治姿勢 について	<p>1 安倍政治と栗原市政について。今年の「桜を見る会」が予算の3倍を超える5,589万7千円使われていた。憲法は内閣に、国会へ予算を提出し、審議と議決を経たうえで支出することを義務付けている。</p> <p>(1) 憲法が定める財政民主主義を無視した「首相主催」の行事が続いてきたことは許されることではないと考えるが、市長はどのような感想をお持ちか。</p> <p>(2) 栗原市において、そのような予算執行は考えられないがいかにか。3倍を超えて使っていることを指摘されると、今度は実績を上回る概算要求、さらに国会で追及されると、今度は昭和27年以来行ってきた「桜を見る会」を来年は中止するという。まさに国政を私物化していることに他ならないと指摘せざるを得ないが、市長の見解はいかにか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>(3) 招待者の名簿を保存期間 1 年未満として、国会で資料請求されたその直後に大型シュレッダーにかけ処分して、すでに公文書がないことを理由に、何を聞かれても「知らぬ存ぜぬ」を、官僚を巻き込んで繰り返しているが、この政府の対応についてどのような感想をお持ちか。</p> <p>(4) 栗原市でも 11 月 23 日、礼遇者の推戴式、表彰式を行ったが、この文書の保存期間は何年か。</p> <p>(5) 栗原市の決算議会は、翌年度の 9 月議会である。決算議会の前に予算執行に関わる文書を廃棄するなどということは考えられないか。</p>
		2 女川原発 2 号機再稼働に反対せよ	<p>1 3,400 億円を投じ、検査に合格したとして、再稼働に向けて動き出したが条件付きの合格でしかない。未来永劫、100%安全でなければ認められないがそれは絶対に不可能なことである。栗原市でも汚染稲わら、汚染牧草の処理が収束していない状況での再稼働は絶対に認められない。市長にあっては明確に反対の意思表示を求めるか。</p> <p>2 栗原市は平成 29 年 12 月に石巻市、女川町と「原子力災害における住民の広域避難に関する協定書」を締結した。受け入れ人数は、石巻市 10,300 人、女川町 6,760 人を上限とすると明記されている。先ごろの台風 19 号に伴う避難所は 10 地区 23 カ所に 1,310 人が避難したとのことであるが、対応した職員は何名か。それに照らせば石巻市、女川町住民の避難所には何人の人員配置が必要か。そのほか、避難所受付ステーションの運営支援をはじめ付随する仕事があるが、総人数は何人となるのか。</p> <p>3 石巻市民、女川町民が全員避難しなければならない「異常事象の発生」であれば、当然栗原市民も避難しなければならない状況となるのは自明の理である。この計画は全く合理性を持たない。再稼働を行おうとしているものが自分に都合のいいように作った計画だと指摘せざるを得ない。いかがか。</p> <p>4 前市長も現市長も「安全性が確保されない限り、再稼働はすべきではない」という立場だが、何をもって安全性が確保されたと認定するのか、その根拠をどう考えているのか伺う。</p>
		3 台風 19 号被災対策について	<p>1 「伊豆沼の水位の下がり方が疎い。荒川サイフォン内に土砂が堆積しているのではないか。」との声が寄せられている。現在の荒川サイフォン内の土砂堆積については、どのように認識しているか。</p> <p>2 平成 6 年度に完成した荒川サイフォンだが、6 年経過して 6 門のうち 1 門は、高さ 5m のうち 4m 50cm が堆積していた実績がある。240m もの長さで、地上からはその堆積状況が確認できない。門扉設置後、どのような基準で堆積した土砂を処理しているか。これまでの処理実績はいかがか。年度ごとに明らかにされたい。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>3 今年度中に新川サイフンの土砂の堆積状況を確認することだったが、予定通り進められると理解してよいか。</p> <p>4 仮谷水門、飯土井水門、東北本線落堀川鉄橋について、運用基準が定められているが、今回どのように運用されたか。横須賀排水機場、新間海排水機場、稗田排水機場の運用基準は定められているか。</p> <p>5 遊水池について。</p> <p>(1) 今回大きな被害を受けた地域は水の逃げ場所がなく、これまでも、たびたび浸水被害を受けた地域である。地域住民、地権者との合意が絶対条件であるが、宮城県をはじめ当該機関との協議により、遊水池を設けることも一法であると考えているがいかがか。</p> <p>(2) 伊豆沼干拓地第2工区及び第3工区には遊水機能目的で溢流堤が設置され、当該溢流堤からの溢流水によって地区内の農作物に被害が生じた場合の救済措置及び事後対策等を講ずることを目的として「伊豆沼溢流被害減収補填基金に関する覚書」が平成11年に宮城県、迫町、若柳町、伊豆沼土地改良区、新田北部土地改良区の5者で締結され、2億700万円の基金積み立てを行うことが明記されている。当然、栗原市に引き継がれているものと考えているが、現時点での基金積立額等、現状はいかなる実態となっているか。</p> <p>(3) 長沼ダムと導水路の越流堤対岸に南谷地遊水池がある。この地については栗原市誕生時の平成17年4月1日付で「財団法人宮城県栗原市若柳南谷地(六畝若石)耕作地災害補償管理組合」と定められ、組合長理事には栗原市長が当たることと明記されている。第4条で「本組合の資産は、次の各号により構成される。1、宮城県から受ける第2条の補償基金 2、その他の収入」とある。基金積み立ては行われているのか。</p> <p>6 中核機能地域生活創造拠点では、「調整池の規模については本拠点エリアと築館高校グラウンド整備エリアで調整力を分担することを想定している」としているが、降雨量はどの程度を想定した調整池となるのか。</p>
		4 財政運営について	1 向こう5年間の基金残高、地方債残高をはじめ各種財政の資料を求めてきたが、いつも「中期財政計画に基づくもので具体的施策は反映していない」との答弁である。が、今、市長は44億円にも上る「中核機能地域整備構想」をぶち上げ最近5か所で、その一つである「道の駅構想」について市民の意見を求めたところである。財政運営についてはより具体的、詳細な財政計画をつくり議会、市民に明らかにすべきである。中核機能整備構想を含めた財政計画にすべきと考えるがいかがか。

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
		5 病院でのカード 支払いの導入を	1 カード時代を反映して、利用者から、医療費の支払いをカードでも行えるようにしてもらえないかとの要望がある。特に入院費など高額の場合は、カードで支払いができればわざわざ金融機関に行かなくとも済むとのことである。導入に向けて取り組まれてはいかがか。

※ この要旨は、各議員から提出された通告書の要点をまとめたものです。